

新型コロナウイルスワクチンに関するよくある質問

番号	質問	回答
1	新型コロナウイルスに感染したあと、ワクチン接種までどのくらいの期間を空ければよいでしょうか。	<p>新型コロナウイルスに感染した人もワクチン接種を受ける時ことができます。また、感染歴のある方が1回の接種で十分な効果を得られるかは分かっていないため、現時点では通常通り2回接種します。ただし、治療方法等によっては接種まで一定の期間を置く必要がある場合もありますので、いつから接種可能か不明な場合は、主治医に御確認下さい。</p> <p>例えば、新型コロナウイルス感染症に対する中和抗体薬「ロナプリーブ」の投与を受けた場合は、抗体が身体に残っている間はワクチンの効果が弱まる可能性があるため、CDCの見解(下記)を参考にすると、90日程度はあけることが望ましいと考えられます。</p> <p>また、隔離期間中は感染性が十分低下していないため、外出はお控えください。</p> <p>米国CDCからは以下のような見解が示されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隔離を中止するための基準が満たされるまで延期する必要がある。 ・新型コロナウイルス再感染のリスクは感染後数か月は低く、免疫力の低下により時間とともに増加する可能性があることが示唆されていることから、新型コロナウイルス感染症に最近罹患した人は、必要に応じてワクチン接種を一時的に遅らせることを選択できる。 ・加えて、モノクローナル抗体(中和抗体薬「ロナプリーブ」)または回復期血漿での治療を受けた場合は、治療から少なくとも90日以降にワクチンを接種することが勧められる。
2	他の予防接種(インフルエンザなど)を受けた後、新型コロナワクチン接種までどのくらいの期間を開ければよいでしょうか。	<p>原則として、新型コロナワクチンとその他のワクチンは、互いに、片方のワクチンを受けてから2週間後に接種できます。</p> <p>なお、創傷時の破傷風トキソイド等、緊急性を要するものに関しては、例外として2週間を空けずに接種が可能です。</p>
3	12歳～15歳は、新型コロナワクチンを2回接種しても安全なのでしょうか。	<p>12歳～15歳の方は、ファイザー社製のワクチンまたは武田／モデルナ社製のワクチンを接種することが可能です。いずれのワクチンも、2回接種することについて、有効性・安全性ともに臨床試験を行い承認されています。詳しくは以下のページをご覧ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファイザー社の新型コロナワクチンにおける臨床試験の主な結果 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_pfizer.html#h2_free8 ・武田／モデルナ社の新型コロナワクチンにおける臨床試験の主な結果 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_moderna.html

4	1回目と2回目で異なるワクチンを接種することは可能でしょうか。	<p>1回目と2回目の接種では、原則として同一のワクチンを接種する必要がありますが、現在接種が進められている新型コロナワクチン(ファイザー社、武田/モデルナ社、アストラゼネカ社)については、下記のような場合に、1回目と異なるワクチンを2回目に接種すること(交差接種)が可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回目のワクチン接種後に重篤な副反応が生じたこと等により、医師が医学的見地から、2回目に同一のワクチンを接種することが困難であると判断した場合 ・国内のワクチン流通の減少や接種を受ける方の転居等により、1回目と2回目で同一のワクチンを接種することが困難な場合 <p>なお、1回目と2回目の接種の間隔は、諸外国の対応状況等を踏まえ、27日以上の間隔をおくこととされています。</p> <p>また、1回目に武田/モデルナ社のワクチンを接種した10代男性と20代男性が、2回目にファイザー社のワクチンを選択することも出来るようになりました。 詳しくは、番号5「ワクチンを接種すると心筋炎・心膜炎になるというのは本当ですか。」を御覧ください。</p>
5	ワクチンを接種すると心筋炎・心膜炎になるというのは本当ですか。	<p>mRNA(メッセンジャーRNA)ワクチン接種後、頻度としてはごく稀ですが、心筋炎や心膜炎になったという報告がなされています。軽症の場合が多く、心筋炎や心膜炎のリスクがあるとしても、ワクチン接種のメリットの方が大きいと考えられています。</p> <p>また、厚生労働省は武田/モデルナ社製ワクチンを接種した若年男性(10代及び20代の男性)について、新型コロナウイルスに感染した場合の発生頻度より低いものの、ファイザー社製ワクチンを接種した場合に比べて心筋炎等の発症頻度が高いとして、新たな接種方針を示しました。 今後、1回目2回目に関わらず武田/モデルナ社製のワクチンの接種が予定されている若年男性については、本人の希望により、ファイザー社製ワクチンの接種を選択することができます。 なお、武田/モデルナ社のワクチンの接種後に生じる心筋炎等の発生頻度は新型コロナウイルスに感染した場合に合併して発症する心筋炎等の発生頻度よりは低いことから、希望する場合は同ワクチンを接種することも可能です。 ※(厚生労働省事務連絡)厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会における審議を受けた対応について https://www.mhlw.go.jp/content/000844053.pdf</p>

6	ワクチンを受けた後に発熱や痛みが現れたらどうすればよいですか。	<p>ワクチン接種後の発熱や痛みに対して市販の解熱鎮痛剤で対応することは可能です。熱が出た場合は水を十分に飲み、必要に応じて解熱鎮痛剤を服用するなどして様子を見てください。</p> <p>しかし、他のお薬を飲んでいる場合や病気治療中の場合は飲めるお薬が限られていることがあります。ほかにもお薬などでアレルギー症状やぜんそくを起こしたことがあれば、事前に普段受診している医療機関や薬剤師に御相談をお願いします。</p> <p>また、激しい痛みや高熱など、症状が重い場合や、症状が長く続いている場合、ワクチン接種後の副反応としては見られない味覚・嗅覚の消失などが現れた場合は、新型コロナウイルス感染の可能性もあります。その場合はお近くの診療・検査医療機関に御相談をお願いします(埼玉県は、発熱患者等を診察し、必要な検査を実施できる診療・検査医療機関を県HPに公表しています)。</p> <p>※「診療・検査医療機関検索システム」https://www.pref.saitama.lg.jp/a0710/hpsearch.html</p>
---	---------------------------------	---

7	3回目の接種はいつごろ行われるのでしょうか。	現在、3回目接種は2回目接種完了から 8か月以上後 とされておりませんが、今後のさらなる科学的知見を踏まえ、必要に応じて国の専門家会議で適宜見直すこととされており 対象者についても国の専門家会議で引き続き検討中です。
8	ワクチンの接種は必ず受けないとはいけませんか。	新型コロナワクチンの接種は、妊娠されている方を除いて、 予防接種法上の努力義務 があります。 ただし、最終的には接種による発症予防効果のメリットと副反応等のリスクを理解した上で、御自身で判断していただきます。
9	ワクチンの接種費用に自己負担はありますか。	新型コロナワクチンの接種は全額公費で接種するため、 無料 で接種できます。
10	コロナワクチンの接種を受けた後も、マスクは必要ですか。	ワクチンを受けた方は、新型コロナウイルス感染症の 発症を一定程度予防できる とされていますが、他人への感染をどの程度予防できるかはまだ分かっていません。 また、ワクチンを受けた方も受けてない方も、共に社会生活を営んでいくことになります。このため、ワクチン接種後も引き続き、 感染予防対策を継続 していただきますようお願いいたします。
11	基礎疾患を抱えているが、コロナワクチンの接種は可能ですか。	かかっている病気によっては、ワクチンの接種にあたり注意を要するとされていますが、 接種を受けられないわけではありません 。事前にかかりつけ医等に御相談のうえ、接種の際には担当する接種医にもお伝えください。 注意が必要な病気の詳細については、以下の厚生労働省ホームページを御確認下さい。 【厚生労働省HP】 https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/0031.html
12	アレルギーを抱えているが、コロナワクチンの接種は可能ですか。	食物アレルギーやアレルギー体質などがあるといった理由だけで、 接種を受けられないわけではありません 。 蜂刺されによるアレルギーがある方でも、ワクチンを接種することができます。 詳細については、以下の厚生労働省ホームページを御確認下さい。 【厚生労働省HP】 https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/0024.html